

かしこくカーライフを楽しむためのコミュニケーションペーパー

Keeper Fan!!

Special Interview

ひうらさとるさんが語るクルマと子育て

田舎ではカーライフも子育てもストレスフリー!
なにより子どもが毎日楽しそうなんです。

大ヒット漫画「ホタルノヒカリ」の作者・ひうらさとるさん。

2年前、避暑で訪れた兵庫県の別荘にそのまま移り住み、大自然のなかで、仕事と3歳のお子さんの子育てを楽しむ姿はおおらかそのもの。

雪道を走る車にこそ本領を発揮するクリスタルキーパーを体験していただきながら、デビューしたばかりのカーライフや子育て、作品への想いについて伺いました。

はじめたばかりのカーライフ。
失敗もありますが、楽しんでます

実は、こちらに来てようやく免許を取ったんです。昨年9月にやっと初心者卒業したばかりで。正直、免許を取るまで、それほどクルマに興味がなくて。もともと大阪の繁華街「梅田」出身なのと、若くして東京に出てきたこともあり、クルマが必要じゃなかったからでしょうね。でも、ここに引っ越してきたら、さすがに必要なだと思って、20代くらいの女性教官の指導が時々大声になって怖かったですが、頑張りました(笑)。

免許を取りたての頃は、主人同伴で注意されながら、おそるおそる運転していましたが、1年くらい経った時に、道にも慣れてわりと平気になり、運転が楽しくなりました。ちょうどその頃、1人でいろいろ出かけてみよう!と主人の愛車でドライブしていて、サイドミラーを折ってしまう失敗もありました…。でも主人は笑いばしてくれました(笑)。

都会暮らしで必要だった気遣いがなくなり、
なにより子どもが楽しそうなんです

田舎で暮らすのははじめてです。運転もですけど、3歳になる子どもと一緒にガンガン滑るスキーとか、引っ越し前の自分には考えられなかったことを普通にやっていることに面白さを感じています。それからベビーカーを全然使わなくなりましたね。家からすぐ車に乗せて、遊び場に着いたら車からポイッと(笑)。都会でお出かけする時の

ような気遣いを子どもにもさせなくてすみますし、なにより子どもが毎日楽しそうなんです。また、ここは信号や渋滞が少ない場所なので、運転疲れをあまり感じることもなく、車内では子どもと歌ったり、おしゃべりしながら快適にカーライフを楽しんでいます。

ワックスとは輝きが全然違いますね!

雪道を走ることが多いから、クルマが汚くなるのが悩みの種ですね。本当にドロドロになるので、誰かが来る時だけ慌てて洗車していましたが、そんな時にかぎって翌日雨が降ったりするんですよ(笑)。それにワックスをかけると、よけい汚れが付いちやう気がして。コーティングすると、輝きが全然違いますね。諦めていたバックのドロドロも消えて感動です。今日みたいに雨が降っても、このキレイがキープできるのは嬉しいですね。

主人のおかげで、
子どもをただ可愛がっていられます

漫画を描いているといつもキャラクターを客観的に見ているせいか、子どもに対してカーツとなる私のことを客観的に見てしまう自分もいるんです。子どもがまだ何を言っても分からない新生児の頃、私もナーバスになっていたのか、外で大声で叱ってしまったことがあって。そんな時でも、周りの人からバカ親って思われているなあと自覚しながら怒っていたんです(笑)。子どもは泣くのが普通だから、周りに悪いと思えば連れて行かなければいだけで、怒るのは間違っているなあと。それからあまりイライラしなくなりました(笑)。

今は、3歳になった子どもに合わせて生活リズムを大きく変えています。朝は3~4時に起きて、子どもが起きるまで仕事、保育園に送り出したら仕事を再開して、夕方6時に強制終了(笑)。子どもと遊んだり、ご飯を食べたり、お風呂に入ったりして夜9時には寝ます。時間が限られているおかげで、仕事はかなりシステムチックになりました。

幸い主人が家事を手伝ってくれるので、仕事と子育ての両立も大変さを感じていません。主人の方がしつけに厳しくて、叱ってくれるから、私はどちらかというとお父さんみたいな立ち位置でいられて、おおらかに子育てができています。

悩みの多くは時間が
解決してくれることを伝えたい

20代くらいの女の子たちって恋愛しているのが当然だと思われることにちょっとウンザリしていると感じた時に、確かに私もその頃そうだったなと思ったんです。キスしなくてもいいじゃんかって(笑)。「ホタルノヒカリ」は、恋愛に頑張らなくてもいいじゃないという思いで描いたもの。編集部の女性からは評判が良く、男性からは“干物”になる女性を理解されなかったのですが、読者の感じ方が二手に分かれることも面白いと思って連載をスタートしたんです。

20代前後の女性は、私もそうでしたが、いろいろなことに悩んでいます。でも私の場合、その多くが年を重ねるにつれて解決しています。読者の人たちの立場は違って、私が経験してきたから話せる「実は時間が解決してくれることって世の中にはいっぱいあるよ」ということを、これからも作品で伝えていけたらと思っています。



ひうらさとる
5月10日生まれ。大阪府出身。1984年「なかよし」にてデビュー。代表作に「月下美人」「プレイガールK」「ヒゲの妊婦(43)」など。大ヒット作「ホタルノヒカリ」は綾瀬はるか主演で2度にわたりテレビドラマ化され、2012年には映画化も果たし、いずれも好評を博す。現在講談社kissにて「うらら」連載中。



「最近「キレイ」がお気に入りの娘も喜びそう!と仕上がりに満足いただき、「このすごい技術を車だけじゃなく、他にも応用できたらいいのに!」といううれしいご提案をいただきました。